



公立中学校の部活動はこれまで、約23万人の教員がほぼ無償で支えてきた。民間に移行すれば指導者への謝礼が発生し、家計の負担になる可能性が高い。部活動にはいくらか支払えるのか。調査を進めている大学がある。

「2500円から3000円」。大阪成蹊大スポーツイノベーション研究所は、公立中の保護者が部活動に支払える月額について、こんな数字をばじき出した。

# 指導役 学生も候補



中学校のバレーボール部を指導する大体大の西沢さん(左)。教員志望で「いい経験ができた」と喜ぶ(大阪府貝塚市)＝上田尚紀撮影

## 謝礼必要 家計の負担に

員15人前後が必要」と試算する。研究所の副所長を務める菅文彦・経営学部教授は「実際の民間指導者の時給はもっと高い」と指摘する。

民間移行後の新たな指導者候補として期待されるのが大学生だ。学生は教育現場を体験できる上にアルバイト代も得られ、自治体は

大学の紹介で信頼できる人材を確保できる。研究所は昨年11～12月、大学生指導者の可能性と課題に関する研究を進めることにした。民間移行を検討する京都市立中8校に、学生約30人を派遣。陸上や軟式野球など5競技13部を対象に週1回で3時間程度、時給2000円で指導に当たらせた。

者を指す2年の村田晋平さん(20)は「将来につながる体験ができた。卒業後に本業にできたらありがたいけど、その場合は指導日数が増え、時給がもう少し上がった方がいいかなと思う」と話す。

だが、大学生だけで部活動指導者の人員を確保できるわけではない。費用についても、アルバイトならある程度抑えることは可能だが、指導者をきちんと雇用する本格的な民間移行となれば、月謝が上がるのは避けられない。

4月から民間運営型の部活動をスタートさせた静岡県掛川市では、水泳で月額8000円(月8回相当)、バドミントンが7000円(月10回相当)だ。大学や各自治体の調査で示された、保護者が部活動に支払えるとする月額とは大きな隔たりがある。

### 同僚

陸上自衛隊 陸上自衛隊 撃場(岐阜市)3人が自衛官(18)に銃撃された事件で、周囲が、「男は訓練していた」などと岐阜県警は、ら事件を計画し実行に移したとみて調べている。捜査関係者は射撃場外で訓練開始を

民間移行後の新たな指導者候補として期待されるのが大学生だ。学生は教育現場を体験できる上にアルバイト代も得られ、自治体は大学の紹介で信頼できる人材を確保できる。研究所は昨年11～12月、大学生指導者の可能性と課題に関する研究を進めることにした。民間移行を検討する京都市立中8校に、学生約30人を派遣。陸上や軟式野球など5競技13部を対象に週1回で3時間程度、時給2000円で指導に当たらせた。

大阪体育大も20年度から自治体と連携し、延べ約100人の学生を大阪府や兵庫県の中学校などに紹介してきた。教員志望の西沢さん(20)は、大阪府貝塚市立第五中の女子バレーボール部を時給1600円で週数回、指導する。2年の後藤彩心さん(13)は「説明がわかりやすく練習に身が入る」と信頼を寄せる。

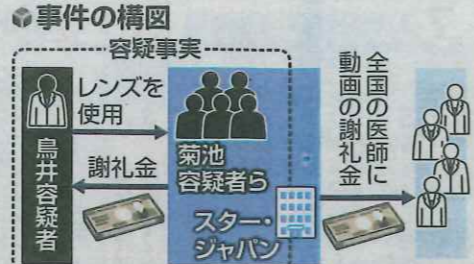
大体大体育学部の中尾豊喜教授は「競技経験がない者が目指す2年の村田晋平さん(20)は「将来につながる体験ができた。卒業後に本業にできたらありがたいけど、その場合は指導日数が増え、時給がもう少し上がった方がいいかなと思う」と話す。

# 白内障レンズで贈収賄容疑

大阪府警



鳥井容疑者が勤務する奈良県大和高田市立病院(大和高田市で)



白内障用の眼内レンズを優先的に使う見返りに、業者から80万円を受け取ったとして、大阪府警は19日、奈良県大和高田市立病院の眼科医、鳥井康司容疑者(54)(大阪中央区)を収賄容疑で書類送検した。医療機器販売会社「スター・ジャパン」(東京都港区)の元社長、菊池敏一容疑者(59)(東京都八王子市)と、

同社の社員ら男女4人(40～67歳)の計5人も贈賄容疑で書類送検した。府警は6人について、起訴を求める「嚴重処分」の意見を付けた。いずれの認否も明らかにしていない。発表では、鳥井容疑者は2019年12月～21年12月、同社のレンズを優先的に使う便宜を図った見返りに5人から、3回にわたり計80万円を自分名義の口座に振り込ませた疑い。この

うち、19年に振り込まれた20万円は、贈賄罪の公訴時効(3年)が成立している。同病院では、鳥井容疑者が白内障の手術を1人で担当。レンズを選定する権限を持っていたのは、鳥井容

疑者だけだった。同病院での同社のレンズの使用率は、以前は年間5割程度だったが、19～21年は85～9割に急増し、計約200枚が使われたという。事件を受け、同病院は信頼を著しく失墜させる行為で誠に遺憾。綱紀粛正に努め指導を徹底する」とのコメントを出した。

判決によると、2020年19日、同社の父のルリアンの父の記重1で紹介したと

鳥井容疑者が勤務する奈良県大和高田市立病院(大和高田市で)のうち、19年に振り込まれた20万円は、贈賄罪の公訴時効(3年)が成立している。同病院では、鳥井容疑者が白内障の手術を1人で担当。レンズを選定する権限を持っていたのは、鳥井容

疑者だけだった。同病院での同社のレンズの使用率は、以前は年間5割程度だったが、19～21年は85～9割に急増し、計約200枚が使われたという。事件を受け、同病院は信頼を著しく失墜させる行為で誠に遺憾。綱紀粛正に努め指導を徹底する」とのコメントを出した。

## 手術動画に謝礼総額2150万円

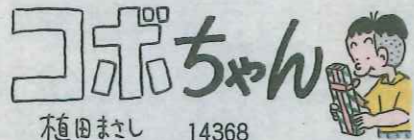
業者に嚴重警告

スター・ジャパンは2018～22年、「ビデオキャプション」と称して、全国の医師75人に自社レンズを

使った手術動画の提供を依頼。総額約2150万円の謝礼金を支払っていた。鳥井容疑者も動画を提供する契約を結んでいた。

業界団体「医療機器業公正取引協議会」はキャンペーンについて、「自社のレンズの売り上げを確保する目的で金銭を提供していた」と認定。公正な競争を妨げ、業界の自主規制に反するとして、22年7月、同社に「嚴重警告」を出した。

背景には、同社のレンズのシェア(市場占有率)を増やしたい意向があったとみられる。白内障は、目でレンズの役割をしている水晶体が白く濁る病気。加齢で発症しやすい。近年、高齢化で白内障の手術が増え、レンズの売上数は急増。業者間で、レンズの販売競争が激化している。



一部の動画には患者の氏名が記録されていた。個人情報保護法は、第三者に提

供する際、患者の同意が必要と定めているが、病院は無断で同社に提供していた。政府の個人情報保護委員会は同年11月、病院や同社を行政指導した。

安田さんは別裁に起こしたが

### 民族差別 男性に賠償

ツイッターへの匿名投稿で人権を著しく失墜させる行為で誠に遺憾。綱紀粛正に努め指導を徹底する」とのコメントを出した。

安田さんは別裁に起こしたが